

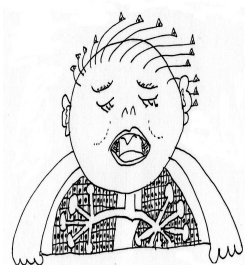
## RS ウイルス感染症

ふつうの風邪

喘息性気管支炎

さいきかんしえん  
細気管支炎

呼吸が苦しくなるので  
注意が必要です。



■ RS ウイルスは、大人や子どもの風邪の原因になるふつうのウイルスですが、乳児が感染すると喘息性気管支炎や、細気管支炎という病気を引き起こすことがあります。中耳炎もよく起こします。

### ■ 喘息性気管支炎

喘息によく似たゼーゼーと苦しい咳をします。吸入量法が必要になることがあります。症状は約 1 週間続くので、家庭での看病が大切です。

### ■ 細気管支炎

6ヶ月未満の乳児では、さらに細い気管支がはれて、空気の通り道がふさがる細気管支を起こすことがあります。呼吸困難が続く時には入院が必要です。

#### □ 細気管支炎の症状

- ・ 息をするときに、鼻の穴が広がる。
- ・ ろっ骨の間がぺこぺこことへこむ。
- ・ うなりながら息をする。
- ・ 息を吐くときにびゅうびゅうと音がする。
- ・ 母乳やミルクを飲まなくなる。
- ・ 唇の周りや指先の色が青っぽくなってくる。
- ・ 発熱が続く。
- ・ 水分が十分に取れなくて脱水症状になる。

## RS ウイルスにかかったら

### ■ RS ウイルスの検査

鼻水を吸引して検査を行います。陽性になってもすぐには心配ありません。多くは喘息性気管支炎の症状で治ります。すべてが細気管支炎になるわけではありません。

### ■ ホームケア

#### □ 鼻を吸い取ってあげましょう。

赤ちゃんの鼻を直接吸うか、市販の鼻吸い器を使ってこまめに鼻を吸い取ってあげましょう。生理食塩水の鼻スプレーも有効です。鼻づまりがひどいときには来院して下さい。予約は不要です。

#### □ 部屋の温度と湿度

部屋の温度は 20 度以上の高めにします。赤ちゃんの寝室は湿度を保つために、洗濯物を干したり、加湿器を置いたりしましょう。

□ **解熱剤** 高熱が続いて元気のない時には解熱剤を与えてもかまいませんが、使いすぎないように。

□ **ミルク** 母乳やミルクは回数を増やして少しずつこまめに与えましょう。

□ **お薬** 痰を切ったり、咳を楽にしたり、気道を広げるような薬です。抗生物質はウイルスには効果はありませんが、中耳炎や肺炎になるのを予防するために使うこともあります。

□ **吸入** 症状がひどいときには、家庭でも吸入ができるように、吸入器をお貸しいたします。

### ■ 予防

RS ウイルスに赤ちゃんを近づけないことが大切です。風邪を引いている人のそばに近づけないようにしましょう。手を洗うことによって予防することが出来ます。赤ちゃんに触れる前には必ず手を洗いましょう。